



29:1 預言者エレミヤは、ネブカデネザルがエルサレムからバビロンへ引いて行った捕囚の民、長老たちで生き残っている者たち、祭司たち、預言者たち、およびすべての民に、エルサレムから手紙を送ったが、そのことは次のとおりである。

29:2 ・ ・ ・これは、エコヌヤ王と王母と宦官たち、ユダとエルサレムの貴族たち、職人と鍛冶屋たちが、エルサレムを出て後、

29:3 ユダの王ゼデキヤがバビロンの王ネブカデネザルのもとに、バビロンへ遣わした、シャファンの子エルアサとヒルキヤの子ゲマルヤの手に託したもので、次のように言っている。 ・ ・

29:4 イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。「エルサレムからバビロンへわたしが引いて行かせたすべての捕囚の民に。

29:5 家を建てて住みつき、畑を作って、その実を食べよ。

29:6 妻をめとって、息子、娘を生み、あなたがたの息子には妻をめとり、娘には夫を与えて、息子、娘を産ませ、そこでふえよ。滅つてはならない。

29:7 わたしがあなたがたを引いて行ったその町の繁栄を求め、そのために主に祈れ。その繁栄は、あなたがたの繁栄になるのだから。」

29:8 まことに、イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。「あなたがたのうちにいる預言者たちや、占い師たちにごまかされるな。あなたがたが夢を見させている、あなたがたの夢見者の言うことを聞くな。

29:9 なぜなら、彼らはわたしの名を使って偽

りをあなたがたに預言しているのがあって、わたしが彼らを遣わしたのではないからだ。 ・ ・ ・主の御告げ。 ・ ・ ・」

29:10 まことに、主はこう仰せられる。「バビロンに七十年の満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにわたしの幸いな約束を果たして、あなたがたをこの所に帰らせる。

29:11 わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。 ・ ・ ・主の御告げ。 ・ ・ ・それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

29:12 あなたがたがわたしを呼び求めて歩き、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに聞こう。

29:13 もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つかるだろう。

29:14 わたしはあなたがたに見つけられる。 ・ ・ ・主の御告げ。 ・ ・ ・わたしは、あなたがたの捕われ人を帰らせ、わたしがあなたがたを追い散らした先のすべての国々と、すべての場所から、あなたがたを集める。 ・ ・ ・主の御告げ。 ・ ・ ・わたしはあなたがたを引いて行った先から、あなたがたをもとの所へ帰らせる。」

バビロンへ引かれて行ったのは主のさばきです。しかしそのさばきの地にも主の祝福はあるということです。ですから主は「あなた方を引いて行った町の繁栄」をも求めるようにと言われるます。

そのように主の愛の懲らしめの後に、「平安を与える計画」を約束してくださいます。私たちも同じように、主の試練があるかもしれませんが。その場合は、非現実的な「夢」ではなく、主のご計

画を見てゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

この世にあって何を実践しますか？

